



# 道路改良會の責務

會長 内務大臣 水野 錬太郎

一

文化の進歩發達に伴ひ、最小の勞力を以て、最大の効果を收めむ事を欲するは、人の經濟的慾望の然らしむる所であつて、世人が交通運輸の上に、距離及時間の短縮に熱心なるは、固より當然のことであつて、此の目的の達成に力を盡すは、雖て國家の隆運を昌ならしむる所以である。而して其の目的の爲に設けられたものが、通信事業を始め其の他海陸の運輸に關する各種の交通機關であるが、是等交通機關の設備の良否は、直に國民生活の上に反映するのであつて、近時社會の問題となつて居る農村振興に關する方策に

就ても、完全なる交通機關を設備することに依りて、其の目的の一部を達成し得るのである。又之を消費の上より觀るも、先年來問題となつて居る米穀其の他の物價も、交通機關が完全に發達するときは、大いに調節せらるゝことは明かである。之に依つて觀るも如何に交通機關が、政治上社會上に重要な地位を占め、人類生活の上に重大なる使命を有するものであるかと云ふことが明かとなるのである。

## 二

既に述べたるが如く、交通機關の責務とその効果とは極めて大なるものであるが、就中陸上の運輸を司るべき道路は、國民の日常生活上に缺くべからざる關係を有し、外圍との交易は一日も此を利用せずしては行ふことが出来ないものであるから、その施設は人の生活する隨所に設けられたる最も普遍的な交通機關である。我國が四面環海の島嶼である所よりすれば、固より水運を開却することは出来ないであつて、此が爲港灣を修築し、運河を開設し、河川を改修して水上運輸を隆盛ならしむることを必要とするは、言を俟たざる處であるけれども、如何に港灣を修築し、運河を開設するも、その港灣や運河を利用すべき後方地帯との連絡にして全からざるに於ては、折角の水運設備も、充分に其の効果を發揮することが出来ないのである。更に陸上交通の機關として、完全なる鐵道網を組成して鐵道を敷設するも、之れを利用すべき後方地帯と鐵道停車場とを連絡する道路がなかつたならば、折角の鐵道も遂に十分の効果を擧ぐることは出来ないのである。此の點より考ふるときは、各種交通機關の利用を充分ならしむる上に重大なる使命を有するものは、道路が其の第一位に居るといつても敢て過言ではないのである。

## 三

道路は此の如き重要な使命を有するものであるが、今之を我國の現状に觀るに、各地ともに、専ら交通經濟の見地に立脚して組成せられたる道路網は極めて稀であつて、而かも何れの道路も近時普及發達した自動車交通に適合して居るものは殆んどないのである。是等は一面明治時代に於ける交通政策が、鐵道萬能の思想に支配せられて、専ら力を之に用ゐたことにも原因するのであるが、又一面我國の地勢が到る處に山嶽重疊して、河川に急流が多いため、米大陸に於けるが如く、數十哩に亘りて平坦なる道路を築造することの困難なりし爲めでもある、殊に近時人口の密度が多くなり、土地の價格も亦低廉ならざるが故に、道路の改良工事費は年を逐ふて増嵩すると共に、地方財政の此に伴ふこと容易ならざるが爲め、道路の改良が次第にその困難を増加して來たやうである。然れども是等の困難を恐れて躊躇逡巡して居れば、即ち萬事休するのであるが、苟も國家の隆盛を期し、國民の福利を増進せんとすることを念とするならば、速に財政の都合を案配して、萬難を排し道路改良事業の計畫を樹立して、之を實行することを急務とするのである。我國の道路法に於ては、道路は之を國家の經營に屬せしめて居るのであるが、一般民衆にして道路其のものに對し、何等の理解を有せざるに於ては、道路の行政を行ふ上に於ても、又道路の改良を爲す上に於ても、誠に容易のことではないのである。宜しく一般民衆に於て、道路の改良は共同の利益を増進する重要な事業たることを自覺し、進んで官民協力相一致して、其の事業の完成を期すべきである。之即ち一般民衆が共同生活團體の構成員として、盡すべき當然の義務であるが故に、道路改良の仕事は、獨り政府の爲す所のみ依頼して已むべきものでないので、吾々同志が曩に此の目的の爲めに、全國の有志

を糾合して、敢て本會を設立したのである。

#### 四

本會成立以來茲に三年、全國に亙りて幾多の同志を得、今日の如く會務の振展を觀るに至つたことは、誠に國家の爲慶賀に堪へない所であつて、曩には東京市内道路の改良に關する意見を定めて當路者に提議し、其の事業の着手に力を致し、又帝國の幹線道路たる東海道國道改良の急務を絶叫すると共に、其の改良計畫を立案して、之を關係當局に提議したのであるが、今や京濱間及阪神間の國道改良工事は其の完成を見んとし、箱根坂路の改良工事も、亦近く完成せんとして居る。尙此の外静岡縣下に於ける富士川大井川及安倍川の架橋も、既に實施の運に至り、全國各府縣相競つて、道路改良の實行に手を染むるに至つたことは、本會の力の與て大なるものあることを示すもので、誠に欣幸に堪えない所である。更に道路改良事業の遂行を容易ならしむるが爲、道路の事業に従事する職員の養成を爲しつゝあることは、既に一般の了知せらるゝ處であるが、之を本會事業の一般計畫より觀るときは、未だ九牛の一毛に過ぎないのであるから、今後益々奮勵して全國道路改良の上に、一層の貢獻を爲さんことを期して居る次第である。數年に亙る歐洲の大戦は、吾人に訓ゆるに人類共同福祉の増進が、國家の隆盛を期する上に緊切なることを以てし、列強相競つて文化的施設の充實に力を致し、日も尙足らずとするの觀を呈して居るの今日、我國に於ても交通機關の主位を占むる道路の改良は、誠に焦眉の急務と云ふべきであるから、本會の任務も亦今後益々重きを加へつゝあるのである。幸に全國有爲の士が、此目的達成の爲に、一臂の力を寄與せられむことを切望して己まないものである。